

第80回科学教材開発研究会報告

2020年11月21日（土） 14：00～16：00

ところ 福井県立こども歴史文化館 体験ルーム 1

参加人数 4名

岸下さん

●本を読むときに便利な道具3種(紹介)

すべて手作り

1. ブックオープナー(本が開かないように固定する道具)



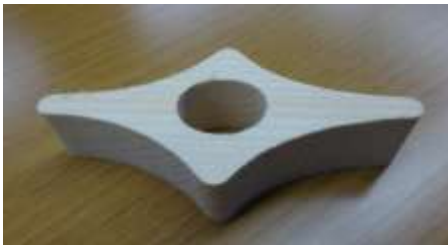
ブックオープナー



ブックオープナー使用例

ブックオープナーは以前の研究会で工作を行ったことがある。

2. ページホルダー(片手で本を見ている時、ページを固定する道具)



ページホルダー



ページホルダー使用例

ページホルダーは電車の中で本を読むときなど、片手のみで本を開いた状態に保つのに便利な道具である。あまり見かけないものだけれど、電車通勤者にとっては便利なものかもしれない。今回の研究会で工作を行う予定であったが、うっかりと材料を持ってくるのを忘れてしまった。多分、次回の参加者は手に入れることになるであろう。

3. 紙閉じ(何枚かの紙を本のように閉じる道具)

「紙閉じ」は、幾枚かの紙を2枚のベニヤ板ではさみ、背中にボンドを付けて本のように綴じることのできる便利な道具である。ステープラー(ホッチキス)でとめるよりもすっきりとして、体裁よく仕上がるそうだ。



紙閉じ

●シルエットパズル(プレゼント)



シルエットパズル

ベニヤ板で作った。オリジナルのパズルについていた解答の数を増やした。

●コロコロ(仮称)

前回野路さんが紹介した3Dプリンターで作られたコロコロと転がるおもちゃを、一つながりの木製製品として彫りだした。



コロコロ



台付きコロコロ

岡崎さん

●タングラム (プレゼント)



タングラム

シルエットパズル。材料は肉厚の硬質な段ボールである。フロッピーケースにぴったりと収まるようにこしらえた。

3.5インチフロッピーの前には5インチフロッピーを使っていたのを思い出した。初期の安価な汎用のパソコンが出回り始めた頃の記憶媒体としてテープレコーダーが使われていたことがあったが、そんなことはご存じない人の方が多いのではないかな。

工藤

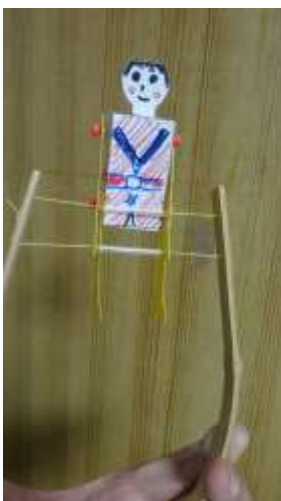
●キツツキ (工作)

昔からのおもちゃで、コツコツと木をつつきながら下りてゆく。軸には近頃出回りだした園芸のグラスファイバー支持棒を用いることにした。なによりも、安価で、真直ぐなところがよい。今回はキツツキとして折り紙を使うことにした。バネの材料としてはピアノ線を用いるよりもステンレス線の方が扱いやすい。



キツツキ→

●鉄棒人形 (工作)



昔からあるお馴染みの鉄棒人形。学校に勤めておられた方から教材の鉄棒人形セットを分けていただいたので、ワークショップで使えそうかどうかをみなさんと検討してもらった。この教材はなかなかおもしろいけれど、大人が作ってみても1時間以上かかることがわかった。また、鉄棒として使われている竹がかなり硬すぎるので、あらかじめ火であぶるとかして曲げておいてやる必要があるようだ。生のままで無理に折り曲げると、表側の竹がぱちぱちと裂けてしまった。裂けてしまうことで、かえって竹のバネが弱まり、都合よくなるのであったが。

←鉄棒人形